

2020年7月19日

学校法人三幸学園  
東京スイーツアンドカフェ専門学校  
校長 高田幸一 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 丸山 智宏

### 学校関係者評価委員会実施報告

令和元年度(2019年度)学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 丸山 智宏 (グランドニッコー東京ベイ 管理部総務人事シニアマネージャー)
- ② 堤 隆太 (飛鳥未来高等学校 綾瀬キャンパスキャンパス長)
- ③ 永井 翔也 (東京スイーツアンドカフェ専門学校 2013年卒業 2期生)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2020年6月24日(水) 東京スイーツアンドカフェ専門学校 4F図書室  
2020年7月17日(金) 東京スイーツアンドカフェ専門学校 7F応接室

##### 3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2019年度 学校法人 三幸学園 東京スイーツ&カフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 市川 貴朗

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 丸山 智宏

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

・退学率逡減への取り組み

入学者の個性や意欲が変遷してきた中で遅刻、欠席があった場合は、必ず保護者へ連絡をするといった連携強化に取り組んだ。結果、早期に問題を抽出することで、退学を阻止できるなど効果も見られた。

2018年度退学率 12.5%(1年生 18.3%・2年生 7.3%)

2019年度退学率 7.9%(1年生 13.6%・2年生 1.9%)

・目的が明確化された就職活動及び長期就労し早期離職をしない指導

早期に就職指導の強化、学校の教育目標を周知徹底することで前年度からポイントアップした。

しかしながら、目標達成には改善すべき点がある。

2018年度 年内就職決定率 90%目標に対し74.6% 就職率100%

2019年度 年内就職決定率 90%目標に対し78.9% 就職率100% 4.3ポイントアップ

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・(丸山氏)面接官をしている中で、業界で働きたいという意思は伝わるが、ここで働きたいという気持ちが伝わってこない方もいる。受験する際の指導として、この企業でないといけないという志望動機を持たせて欲しい。年内決定率は非常に高い数値と感じる。

・(堤氏)退学率が低下していることは良い傾向だと思うので、今後も継続していただきたい。

・(永井氏)学生が退学する理由について、他分野への進路変更や業界へ興味なくなるなどの自己都合が考えられる事と経済的な理由、精神疾患など職員で対応できないものもあるのではないかと。これからは退学、就職に対する意識についての課題の共有および成功事例の共有を学生に指導する必要があるため、そのためのシステム作りを提案する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

## (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

### ① 課題

- ・業界の動向や求める人材像を正確に捉えた学校教育への具体的な反映
- ・教科間／教育課程に応じた教科の連携による実践力向上
- ・飲食業界の今後の動向に伴う時代の変化に即した教育課程、授業カリキュラムの改善

### ② 今後の改善方策

- ・インターン実習先、就職先との積極的な関係構築及び情報の視覚化とタイムリーな提供
- ・教科間・学年間とのすり合わせを実施し、学年のステップを意識した教育内容
- ・企業訪問を通して常に業界のトレンド・求める人物像に変化があるかをヒアリングし、教育課程に反映していく。

### ③ 特記事項

- ・教職員には、教育理念、ビジョン、ミッション、人材育成方針を体系化し、年3回の全体会議内での研修、ポスター掲示等により周知。
- ・あきらめない教育本を配布して全体会議内、教科会などで浸透をはかっている。
- ・生徒への理念浸透向けに、入学直後のスタートアッププログラム研修や、クラス毎教室内ポスター掲示し、HR 等での継続的な周知。
- ・オープンキャンパス保護者説明会や入学予定保護者会の実施。
- ・課外活動として生徒が主体的に実践力を学べる機会を提供する。（商品開発・地域連携活動）

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(丸山氏)昨年度より委員をしている中で、課題に対してしっかりと工夫した取り組みをされていると感じる。
- ・(堤氏)高等学校進路教員・担任の進路指導をされる中で、業界の特性と理解の浸透を図ることが大切だと考えるので、高等学校教員への説明会などが必要となる。
  - ・(永井氏)卒業後就職先で活躍するためには貴校(東京スイーツ&カフェ専門学校)ならではの強みを見いだし、PR をして他校(競合校)との差別化を図ることが大切だと考える。他校(競合校)の状況では教員のコンテスト実績や現場に即した力や厳しさを伝えている製菓学校もある。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

- ・採用後、教職員としての授業力向上
- ・分業に伴う担任／事務／講師間のスムーズな情報共有
- ・教育という組織に対する教職員の意識向上

### ② 今後の改善方策

- ・年2回の授業力向上セミナーを開催し、決定した事項を各教科会議にて実践、練習する。  
(3月実施予定のものはコロナウィルス感染防止の為中止)
- ・コンプライアンス体制については、教職員の意識を高まり少しずつ改善がされている。
- ・個々の能力に応じた適材適所の校務／業務配置(人材育成と業務の見直し)

### ③ 特記事項

- ・運営組織は、理事会・評議員会を適切に開催。必要な審議を行い、議事録を作成している。
- ・学校運営は、学園組織図、学則、校務分掌表に示している。学則は必要に応じて学則変更を行い、校務分掌表は年度ごとに内容や担当職員を見直している。
- ・採用は、関係法令により教員資格が定められている分野は、規定通りの人材を確保。他の分野においては必要要件を満たした人材を確保。
- ・情報管理においては管理体制を強化している(office365 の活用、発注や経理システムの推進及び事務職員の採用)

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(丸山氏)適切に学校運営がされていると思うので継続して欲しい。  
年度毎の運営方針が明確に示されていて分かりやすい事と会議等で全教員、職員に徹底されている点が評価できる。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### ① 課題

- ・キャリア教育の充実
- ・インターン・就職を見据えたより一層の就業先の開拓
- ・職業を見据えた講師の授業力向上
- ・実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)の体系化

#### ② 今後の改善方策

- ・在学期間中から長期就労に対する授業／ガイダンスを行う(卒業生／業界の方からの意識づけ)
- ・授業アンケートを活用し、個々のスキル向上を図る。
- ・週に1回の企業先訪問を通して業界理解をはかると共に、学校としての関係先を強化する。
- ・教育課程を見直し、実践力向上のための情報共有や意見交換の場を作る(教科会の実施)
- ・シラバスにおける評価項目の改善及び生徒へ評価基準と学習効果を提示する

#### ③ 特記事項

- ・年3～4回の教員研修、授業見学月間の設置等、授業や指導力向上に向けて取り組んでいる。
- ・年2回の「授業の進め方アンケート」、「担任アンケート」を実施し、副校長(教務課長)や担任指導者よりフィー

ドバックをし、改善につなげている。

- ・成績評価、単位認定は「学則」及び「教務ハンドブック」に従い、厳正に行っており、初回授業にて担当教員から授業計画とともに直接説明をしている。
- ・各教科よりシラバス作成を依頼し、教科間の連携を図りやすいように情報公開を行っている
- ・生徒からの授業アンケートを実施し、良い授業、面白い授業などを紹介し、成功事例を教員間で共有  
また授業アンケート項目以外でどのように感じているかを率直にヒアリングし、プラスの意見を共有する。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(丸山氏)1年課程・2年課程卒業との学生の近年、女性が優れていると感じています。男女問わず接客業に繋がる指導をお願い致します。
- ・(永井氏)教員、職員の業務効率化を図り、教育に可能な限り専念できるようにして欲しい。  
技術指導をされる中で調理・製菓業界とも様々な手法・製法があるので、1つの手法、製法だけではなく多くの教員から様々な方法を伝えて欲しい。

### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

#### ① 課題

- ・退学に至るまでの担任力と学年全体での共有による対応強化。(保護者巻き込み／他教員の巻き込みなど)
  - ・個々のニーズに合わせた就職サポート(エリア力)
  - ・卒業生の就労状況(活躍や継続)の把握
  - ・在学中におけるキャリア形成の指導及び社会人基礎力を含めた社会人育成
  - ・メンタル不全などの精神面でのサポートが退学率防止に役立てる

#### ② 今後の改善方策

- ・退学事例報告会の定期的な実施や学生情報の迅速な共有
- ・個々のヒアリングを対面、データでも実施し年度毎に個々に合わせたサポートを強化する。
- ・個別状態把握の為のQUアンケートQUESTIONNAIRE－UTILITIES)とは、『楽しい学校生活を送るためのアンケート』を活用したクラス運営(勉強会実施済み)

#### ③ 特記事項

- ・年内内定率 目標90%以上 に対し78.9 % ・ 就職率 目標100% に対し 100%
- ・エリア担当教員を配置し、担任と実技教員も交えて3名体制で就職をサポートしている。
- ・エリア担当制により、卒業生や在校生の実習就職評価を直にヒアリングし、指導に反映している。
- ・退学防止については、入学前新入生保護者会を実施、学校生活のサポート協力体制を依頼。

・カウンセリングルーム設置の告知

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(永井氏)卒業生と学校との繋がりをより強化し同窓会を定期的な開催を検討していただきたい。  
当校コメント:2021 度開催を検討している。
- ・(堤氏)教員、職員の異動に伴い、来校する卒業生が希薄になってしまう場合ある。卒業生との関わりは教員・担任とのつながりが強いので、今後の課題として卒業生が来校しやすい場を検討していく必要があるのではないか。

#### (5)学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

#### ① 課題

- ・同窓会組織の強化
- ・キャリア教育・職業教育の取り組みの強化(※卒業生支援)

#### ② 今後の改善方策

- ・個別状態把握の為の QU アンケートを活用したクラス運営の実践及び検証
- ・就職ガイダンスにて飲食業界の現場で勤務している方からのキャリア案内(定期的な就職ガイダンスを実施)
- ・飲食の現場を意識した技能・人間性両面からの人材育成のための勉強会を実施

#### ③ 特記事項

- ・専属のスクールカウンセラーを設置
- ・卒業生へのフォローを目的としたホームページ“Sanko Link”の浸透・活性化
- ・自主練習や、商品開発プロジェクト、特別ゼミを開催し、学生が実践力を向上できる場を提供

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(丸山氏)在学中にフォローが必要だった学生が、その後の就職先で対応方法が難しく退職している場合もあるので今後、就職活動の指導と就職先企業様との相互理解が必要。



・(永井氏)学生が就職活動をする中で、インターン先の選定方法は生徒個人の希望に委ねている部分が多いが、技術知識が無いままインターンを実施すると学生が戸惑ったり、失敗をしたりと学生の印象が悪くなり、その先での就職が難しくなる場合もある。学校として、インターン先は慎重に選定をしていく必要がある。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

・定期的な避難訓練、防災対策

### ② 今後の改善方策

・HR 等での伝達にとどまらず、HR を使ったの避難経路確認など防災対策の実施(防災訓練等含む)

### ③ 特記事項

- ・施設・設備は、平面図、備品台帳などの書類により管理できている。
- ・全教室にプロジェクターとホワイトボード、スピーカーを配置することにより、積極的に OA 機器を利用したの授業が出来る環境を作っている。
- ・実習中は、エリア担当教員が実習先を訪問し、学生の状況を把握すると共に担任とのコミュニケーションを図り、連携して学生指導を行っている。
- ・海外研修の参加者は1年生を中心に一定数参加している、現地の製菓学校やパリスト実習を中心に業界理解や内容が充実している。

平成31年度は2月21日～2月28日の8日間(イタリア:ローマ/フランス:パリ)

- ・防災対策は、建物全体のものとして「消防計画」等に基づいて、防災体制の整備、備蓄品の補充、基本的な体制を十分に整備している。
- ・防火管理者、施設管理責任者等の予防担当者を適切に配置し、必要に応じてその任命を再確認している。消防設備点検により指摘のあった箇所は速やかに改善を行っている。非常時の動きの確認等、HR 等を通して担任から伝達・指導している。
- ・三幸学園の本郷地区のみの学校にて防災マップの作成、配布

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(丸山氏)1階カフェスペースが、学校の施設の強みになっているので、広報でぜひ打ち出して欲しい。
- ・(永井氏)施設、設備が老朽化している箇所も一部みられるため、早急の改善を検討する。



## (7) 学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・教務(教育成果)と広報(募集活動)の連動を意識した募集活動
- ・業界ニーズを図っての教育課程設置で有る事を広く認知してもらう為の取り組み。

### ② 今後の改善方策

- ・教育成果を伝えられる魅力的な広報活動を適正に行う。
- ・来校してくれて参加者に対して業界理解、学校理解という順番で説明を実施し、理解の浸透を促す。

### ③ 特記事項

- ・地域に設置されている広報室との連携を強化し、ニーズに合った情報の提供ができるよう取り組んでいる。
- ・中学生の学校見学や、高校1・2年生向けの広報活動において、職業理解を深め、調理・製菓業界をはじめとした飲食業界を目指してもらえることも意識している。
- ・学納金及び奨学金制度、学費減免制度については、社会情勢を踏まえて毎年、検討を重ねている。学納金の設定については妥当なものであると考えている。学納金等徴収する金額はすべて募集要項に明記している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・(堤氏)高等学校の進路教育においてスイーツ・カフェ分野の理解が浸透していない部分があるため、高等学校担任による生徒指導においてカリキュラム・資格などの強みも伝えていく必要があると考える。併せて高等教育無償化についての理解浸透が低い家庭もあるので、募集活動の中でより多くの情報提供を行い経済的困難な家庭のサポートをして欲しい。

高等学校教員が飲食業界の特性について理解をして進路指導をすることが大事なので、今後高等学校教員への説明会などを希望する。

## (8) 財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・(丸山氏)問題なく運営をされていると感じます。

(9) 法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

・会議や掲示等を通じて、全ての職員が法令遵守に対する啓蒙を継続的に図れるよう働きかける

③ 特記事項

・本校は、専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあつてはその指定に関わる基準等を遵守し、適正な運営をしている。本校は、教育基本法、学校教育法、専修学校設置基準を基本に、関係する諸法令を遵守している。寄附行為、学則等を監督官庁に届出て認可を得ている。  
・在学生に対しては、初回の HR において、「学生便覧」を配布し、学修に関する諸手続、学生生活、喫煙等について、法令遵守の視点から周知している。また、在学生に対しては、HR や授業にて、ネット利用の注意点を

継続的に伝えている。

- ・コンプライアンス DVD を視聴(グループワークの実施)。
- ・自己点検・自己評価に関しては文部科学省ガイドラインに従った情報公開を実施する予定。
- ・自己点検・自己評価の材料である「授業アンケート」は、学校平均と共に全教員へフィードバックしている。
- ・学校平均、三幸学園全体の平均に関しては全教員へ公表し振り返りを行っている。
- ・「卒業生アンケート」に関しても同様、三幸学園全体の平均と本校の結果を、年度初めの全体会議で公表し教員全体での振り返りを行うことで、次年度へ活かす材料としている。
- ・個人情報誓約書のフォーマットのリニューアル(H29年度より改善)

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(永井氏)この委員会を含め、外部の声を積極的に活用し、引き続き教育の質をより高めて欲しい

### (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

#### ① 課題

- ・積極的な公開講座、地学・教育連携の向上
- ・地域のニーズにあった教育内容の提供

#### ② 今後の改善方策

- ・地域活動の積極的な斡旋／企業、地域との関係構築
- ・地域貢献の為に講座を開催し、学校に来校して頂く事で地域との連携を強化している。  
※親子クッキング、クリスマス販売、湯島町会の社会貢献プログラムに出店。

#### ③ 特記事項

- ・クールビズ、ウォームビズに取り組んでいる。
- ・使用していない教室、廊下の電気は細目に消すことを徹底することを学生、教職員に協力を要請し、電力使用量の節減のために取り組んでおり、使用量報告も行っている。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(堤氏)高等学校との教育連携やキャリア教育指導の一環として御校から授業を行って頂いている関係から、今後、高等学校や様々な分野と連携を図っていくことが大事と感じる。

## (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

### ① 課題

留学生の卒後の受け入れ先が少ない。  
留学生の就職支援力が弱い

### ② 今後の改善方策

留学生を受け入れてくれる就職先の確保に努め、体制を強化する。  
「日本料理海外普及人材育成事業」以外に、2019年度より「特定技能ビザ」による留学生の就労が認められるため、制度利用の方法を職員が理解し、推奨できる様に準備を整える。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(丸山氏)語学力の問題もあるが、コミュニケーションが高い人材を企業側は求めているので、教員力と校風を活かした人材育成をして欲しい。
- ・(永井氏)適切な教育、指導をされていると感じるが、今後留学生が増えていく中で、教育方針の柔軟な対応をしていく運営も検討していく必要がある。
- ・(堤氏)留学生の受け入れ、卒業後についても難しい部分はまだあるがしっかりと対応をして欲しい。

## 4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・前年度の課題に対して改善されている事と、具体的な目標や計画は定められ、実行されており、一定の評価が出ている。
- ・「あきらめない教育」という形で、しっかり学生と関わっていく在り方が、退学者逡減につながっている。

### 全体を通じた委員コメント

- ・教職員の情熱を持って教育に取り組まれていることを感じられる。しかしながら生徒対応においての統一指導、技術向上が課題とも考え、今後も教育の質の向上を具現化し、より一層の発展を期待している。
- ・今年度はコロナウイルスの影響があり例年通りとはいかないので、施設の改善など、教育の現場として最先端を目指して頂く運営を心がける必要がある。

以上